

## 2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科	言語聴覚士学科	科 目 区 分	基礎分野	授業の方法		講義	
科 目 名	呼吸・発声・発語系の構造・機能・病態	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30	(1)	
対 象 学 年	1年生	学期及び曜時限	後期	教室名	702教室		
担 当 教 員	前川圭子						
実務経験とその関連資格	言語聴覚士として総合病院に30年勤務し、発声発語リハビリテーションを行ってきた。現在は年間のべ250名以上が受診する喉頭外来を耳鼻咽喉科医師とともに担当している。これまでに、口蓋裂に対する言語指導、また機能性音声障害、歌手の音声障害、小児の音声障害などに対する音声治療について、学会のシンポジウムやパネルディスカッションの演者として指名を受けた。現在、日本音声言語医学会理事・査読委員・音声言語認定士、日本喉頭科学会評議員、音声障害診療ガイドライン作成委員、日本言語聴覚士協会認定言語聴覚士講習会(成人発声発語障害領域)講師を務めている。						
《授業科目における学習内容》	<ul style="list-style-type: none"> <li>呼吸・発声・発語に関する基礎的な解剖学、生理学の知識を習得する</li> <li>講義を通してリハビリテーションに必要な発声発語に関する基本的な知識を学ぶ</li> </ul>						
《成績評価の方法と基準》	定期テスト100%(持ち込み不可)						
《使用教材(教科書)及び参考図書》	藤田郁代ら『標準言語聴覚療法 発声発語障害学 第3版』医学書院、2021						
《授業外における学習方法》	レジュメや教科書を用いた予習復習						
《履修に当たっての留意点》	2年生進級時の発声発語リハビリテーション各論の基礎となる大切な知識を蓄積するために、積極的な授業への参加を望む。						
授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容			
第1回	授業を通じての到達目標	呼吸器官の基本構造と呼吸運動について理解する	指定教科書 レジュメ	授業内容の復習			
	各コマにおける授業予定	上気道・気管・気管支・肺・胸郭の構造、吸気筋と呼気筋、呼吸運動と神経支配について概説する					
第2回	授業を通じての到達目標	呼吸器に関する病態と呼吸機能検査について理解できる	指定教科書 レジュメ	授業内容の復習			
	各コマにおける授業予定	呼吸器系の病態と呼吸機能検査について概説する					
第3回	授業を通じての到達目標	喉頭の枠組み構造を理解できる	指定教科書 レジュメ	(復習)なるべく多くの人の喉頭を触知する			
	各コマにおける授業予定	喉頭の枠組みについて概説し、軟骨を触診する					
第4回	授業を通じての到達目標	喉頭の軟骨の動きと声帯の運動を理解する、声帯の基本構造を理解する	指定教科書 レジュメ	(復習)声帯の動きを軟骨の動きと運動させて覚える			
	各コマにおける授業予定	軟骨の運動を体験してみる、声帯の基本構造を概説する					
第5回	授業を通じての到達目標	喉頭の機能について理解する	指定教科書 レジュメ	授業内容の復習			
	各コマにおける授業予定	発声以外の喉頭の機能と発声時の喉頭調整について概説する					

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	授業を通じての到達目標	喉頭に関わる検査について理解する	指定教科書 レジュメ	授業内容の復習
	各コマにおける授業予定	声帯の観察法、声帯振動の観察法、画像検査、筋電図検査、空気力学的検査について概説する		
第7回	授業を通じての到達目標	喉頭の病態について理解する	指定教科書 レジュメ	授業内容の復習
	各コマにおける授業予定	声帯運動障害、声門閉鎖不全、声帯振動異常、喉頭調節障害について概説する		
第8回	授業を通じての到達目標	声帯の病態について理解を深める	指定教科書 レジュメ	授業内容の復習
	各コマにおける授業予定	実際の喉頭所見から病態を探る		
第9回	授業を通じての到達目標	構音器官の構造を理解する	指定教科書 レジュメ	授業内容の復習
	各コマにおける授業予定	構音器官の構造(鼻腔、口唇、顎、口腔、軟口蓋、舌、咽頭)について概説する		
第10回	授業を通じての到達目標	構音に関わる神経、筋の働きを理解する	指定教科書 レジュメ	授業内容の復習
	各コマにおける授業予定	構音産生に必要な筋肉、神経制御について概説する		
第11回	授業を通じての到達目標	構音器官の病態について理解する	指定教科書 レジュメ	授業内容の復習
	各コマにおける授業予定	機能的構音障害、組織欠損と奇形、運動障害、鼻咽腔閉鎖機能不全について概説する		
第12回	授業を通じての到達目標	構音器官の病態についての理解を深める	指定教科書 レジュメ	授業内容の復習
	各コマにおける授業予定	実際の構音所見から病態を探る		
第13回	授業を通じての到達目標	構音に関する検査について理解する	指定教科書 レジュメ	授業内容の復習
	各コマにおける授業予定	鼻咽腔内視鏡、音響分析、バログラフィなどについて概説する		
第14回	授業を通じての到達目標	構音に関する検査所見を分析できる	指定教科書 レジュメ	知人や芸能人などの構音に注目して構音記載を試みる
	各コマにおける授業予定	実際の鼻咽腔内視鏡、音響分析、バログラフィなどを分析する		
第15回	授業を通じての到達目標	まとめ	指定教科書 レジュメ	授業内容の復習
	各コマにおける授業予定	これまでの授業内容をまとめる		